

株式会社楠見製作所

新富士工場

■会社概要

株式会社楠見製作所は、創業（1962年）以来プラスチック成形を主体として高精度の成形品、機械組立品巻線加工品を製造しています。新富士工場（1992年新設）では大手家電メーカーの空調機器部品を製造しています。ユニバーサル就労では事業スタート当初から、数多くの職場見学や就労体験を受入れ、その中から2名が雇用に結びついています。

■大切なのは「本当の理解」

現在正社員として働いているAさんは、アスペルガー症候群の診断を受けており、人と関わるのが苦手です。Aさんを雇用するにあたり、「成功の秘訣はコミュニケーション」と考えた佐野工場長は、自らが率先してコミュニケーションを取りました。Aさんが楠見製作所で働くことができるようにするために次のことを行いました。

- ① 障害についての勉強
- ② 職場の方々への周知（自作マニュアルの作成）
- ③ 諦めずに何度でも伝える

佐野工場長の理解がそのまま職場の方々との理解とは限らない中、工場長自らが取った方法は、休憩時に社員に交じって雑談しながらAさんを職場に溶け込ませたことです。また、本人は物覚えが悪いと思いましたが、実際には興味があったり、自身が納得できたことはしっかり覚えられることを見抜き、その特性を活かせる部署に配属することで、自信を持たせました。



そして、60種類以上ある部品をあっという間に覚えたり、まじめで休まないAさんをいつしか職場の同僚たちも理解して、温かく接してくれるようになりました。

佐野工場長は言います、

「私は何も特別なことはしていません。ただ、Aさんの受入れを決めた自分が中心となって障害や彼の特性を理解し、それを従業員に伝えようと思っただけです。職場が受け入れの体制をしっかり準備すれば、たとえ障害があっても、その能力は十分に発揮できます。実際に、Aさんの能力は弊社に必要と感じ、アルバイト雇用から正社員雇用へ切り替えました。」

■あきらめずにトライ

Aさんが楠見製作所に出会うまでに職場見学5社、就労体験3社を実施しました。また富士市ユニバーサル就労支援センター主催のセミナーにも参加しました。その中で自身の障害についてのプレゼンを行い、自分のことを理解してもらおう努力を重ねました。

Aさんは「センターで本当に自分のことを理解してもらえるか当初は不安でした。しかし支援員のみなさんはしっかりと受け止めてくれて全力でサポートしてくれました。自分にあった仕事は必ずあります。自分と同じで働くことに自信がない方も、あきらめずにトライしてほしい」と語っています。また企業に対しては「病気や障害があっても働きたいと思う人はたくさんいることを理解してほしい」と笑顔で力強く話してくれました。

